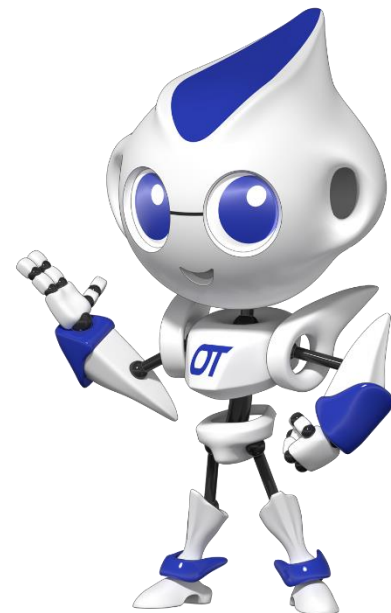
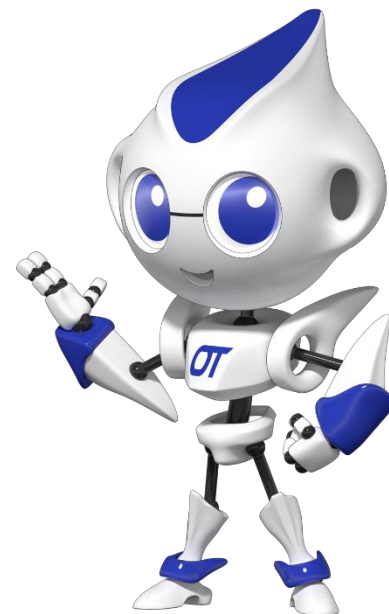


DX戦略

2021年4月
沖縄通信ネットワーク株式会社



1.当社の目指す姿	P3
2.当社を取り巻く環境とDX	P4
3.当社のDX取組（社内）	P5
4.当社のDX取組（社会と生活）	P6
5.当社のDX戦略	P9
6.当社のDX商材	P11
7.当社のDX体制	P12





1. 当社の目指す姿

当社は、沖縄地域を中心として、総延長**約1.5万キロ**の光ファイバーケーブルと最新技術でお客様に最適なネットワークと、最新テクノロジーを提供しています。

**光ファイバーと通信、最新テクノロジーで
沖縄地域に貢献し、
生活とビジネスのトータルソリューションで
新しい感動を！**



2.当社を取り巻く環境とDX

デジタル技術がもたらす環境変化と、新たな価値観「New Normal」への移行を契機に、社会全体のデジタル化が一層加速しており、人々の価値観や生活様式が大きく変化しております。このような環境下においても持続的に成長するため、当社は「OTNetフィロソフィ」に基づいたDXを推進することで、ステークホルダーの信頼に応え、新たな価値を創出し、提供していきます。

期待に応える

お客様

生活とビジネスの
トータルソリューションで
新しい感動を与える

社員

一人ひとりが成長するた
めの機会を提供し
自己実現を支援する

株主

持続的に企業価値を
向上させる

社会

経済の発展に
貢献できる企業を目指し
社会的使命を果たす



3.当社のDX取組（社内）

テレワーク等による多様な働き方

経済発展への貢献、信頼される企業、全社員の真の幸せを目指し多様な働き方を尊重しています。一例としてテレワークを導入しており、週2回のテレワークを推奨し、コロナ過において従業員や家族の感染防止と事業継続を実現しています。

ツールを活用したコミュニケーション

マイクロソフト社が提供するコミュニケーションツール「Teams」を導入し、社内外会議、研修、慰労会などに最大限活用。コロナ禍においてもコミュニケーションロスを減らし、日々の業務を円滑に遂行しております。

業務の標準化、デジタル化の推進

自社ブランドで販売しているOT Robo(RPA)により、定型業務の自動化、稟議書や各種申請書のワークフロー化により押印処理を省き、業務の標準化、デジタル化を継続して推進しております。



3-1.当社のDX取組（社会と生活）

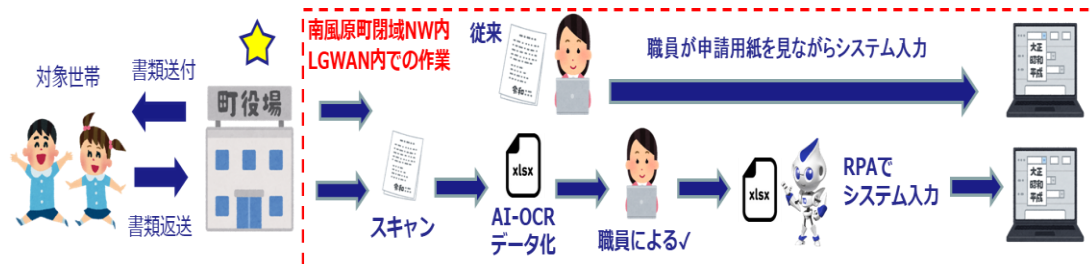
AI活用による業務改革（OT AI-OCR）

ロボットによる作業代行（OT Robo）

新型コロナウイルスの影響で保育園への登園自粛に協力頂いた世帯に対して、期間中の保育料を日数に応じて利用者へ還付する業務を自動化する OT AI-OCR、OT Roboの共同実証実験を行い、業務効率の有効性を確認。導入委託契約を締結しました。

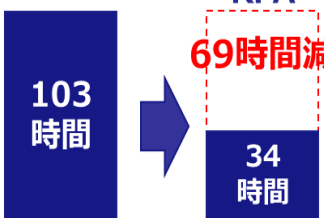
■南風原町民生部こども課 AI-OCR・RPA導入業務委託契約 実証実験概要

対象者への通知からシステム登録までのイメージ



削減効果について

手作業
AI-OCR
RPA



約66%
所要時間
削減

※手作業 : 1件3分、6231分(103時間) 9-17時稼働の8時間稼働
※ロボット : 1件1分、2077分(34時間) 7-24時の17時間を稼働
※南風原町こども課による作業時間試算



3-1.当社のDX取組（社会と生活）

様々なモノを管理・監視（i-OT） 水納島(本部町)にIoT対応の検量器を設置し、LPWAにより自動的に検針データ取得する。

2018年4月より水道検針者の高齢化に伴う減少、遠隔地の水道検針作業の効率化を目的として水道自動検針の実証実験を開始。2019年10月より沖縄県国頭郡本部町水納島にて商用化を開始しました。今後は漏水の遠隔監視などのインフラ管理、一人暮らしの高齢者見守り等に応用して、沖縄県のIoT普及に貢献いたします。

BEFORE :
現場で検針作業

高齢化社会！

体力的に
大きな負担！

天候に
左右される！

検針対象施設の
データをもって現場へ

検針時の指示数
情報を持ち帰り



**IoT導入
により**

AFTER :
自動検針/データ送信

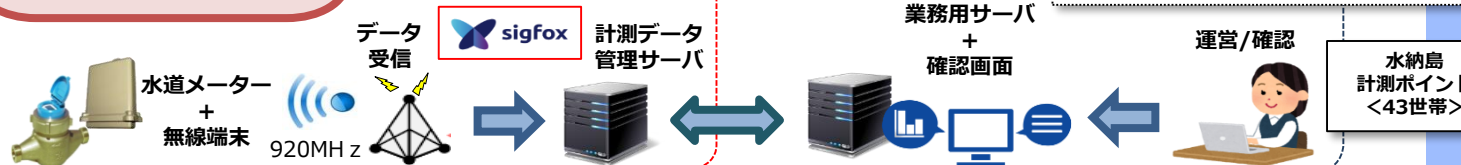


↓水道メーター
(1～24回/日のデータ取得が可能)



★「漏水」等の状態監視が可能
★サブスクリプションにより、
月額料金：数百円で、端末・通信・
プラットフォームが利用可能

水道検針自動化の仕組み



【伝送方法】

Sigfoxの局を建て、水納島の検針メーターから指針値を伝送。

水納島
計測ポイント
<43世帯>





5.当社のDX戦略

おきなわをつなぐ。未来への挑戦

3つのつなぐ（戦略）

1.安心安全で安定した高品質NW運営（コア領域を極める）

2.伸ばす新たな事業領域（新たな収益源を創造・育成）

3.サステナブルでレジリエンスな組織改編の推進、実行



5-1.当社のDX戦略

デジタル技術を活用

安心安全で安定した
高品質NW運営
(コア領域を極める)



- ・開通工事業務
- ・システムおよびツール類の開発・改修
- ・局舎への非常用発電機設置

伸ばす新たな事業領域
(新たな収益源を創造・育成)



- ・教育（ギガスクール/ハイスクール）領域

サステナブルでレジリエンスな
組織改編の推進・実行



- ・変革が当然となる企業風土の浸透
- ・継続的な業務の効率化、品質の向上



6.当社のDX商材

次世代コールセンター OT-AI コンシェルジュ

AIを活用した対応や受付業務の自動化により、コールセンターをはじめとする電話業務の効率化・コスト削減をサポートします。

AI活用による業務改革 OT AI-OCR

手書き帳票のデータ化を実現する識字率90%以上のサービス。ルーチンワークの自動化をサポートします。

ロボットによる作業代行 OT Robo

定型的なパソコン操作を記録し、人のかわりにロボットで自動化するソフトウェアです。

安心安全を非接触で OT-AI コンシェルジュ for サーモグラフィ

非接触で安心・安全に体温を計測する事ができます。また顔認証AI機能により予め登録した社員や来訪者の入退出管理や発熱チェックを行うことで検温漏れを防ぐことができます。

テレワーク ソリューション OT Office Pack Plus+

テレワーク用のリモート接続アプリ、端末、セキュリティ等が一緒になったテレワーク環境導入ソリューションです。

様々なモノを管理・監視 i-OT

磁気センサーや温度センサー、振動検知センサーなど様々なセンサーを搭載しており、様々な事を管理・監視できます。



7.当社のDX体制（案）

当社は、総務内にDX推進担当者を配置し、DXを推進します。
代表取締役社長は統括責任者とDXに関する実務の執行を総括します。

